

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援 キッズ大地		公表日 R8年 3月 11日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	5		・定期的に必要な教具教材の検討を行っている。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・常時適切な配置数になるよう、職員の休みが同じ日に重ならないようしている。	・職員の休みが希望通りにならない時があるので、できるだけ希望通りになるように検討する。
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・定期的に保護者と面談を行うことで、保護者の意向を伺い、業務改善に繋げている。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・定期的に職員と面談を行い、職員の意向を伺うことで業務改善に繋げている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	・第三者による外部評価を検討していきたい。	・第三者による評価結果をもとに業務改善につなげていきたい。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・毎月職場内で研修を行っている。	

適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5		・アセスメントを適切に行ったあと、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成している	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮し検討している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5		・担当者が訪問先施設の担任と連携し、意向を盛り込んでいる。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・職員間で共有し、計画に沿った支援を行っている。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・子どもの状況に関しては、日々フォーマルやインフォーマルなアセスメントを行うことで行動観察を行っている。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・ガイドラインに沿って具体的な支援内容を設定している。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・職員間で共有し、計画に沿った支援を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・職員間でミーティングを行い、支援内容や役割分担を確認し、連携して支援している。	・日によって参加できる人数に限りがある為、参加できる人数を増やしていきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・職員間でミーティングを行い、気付いた点などを共有している。	・日によって参加できる人数に限りがある為、参加できる人数を増やしていきたい。
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5		・訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っている。		

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5		・毎回、記録し支援や改善の余地がないか検討している。	・実際に検討した改善案は実行していきたい。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・こどもの状況をよく理解した者が参画している。	・参加できる職員の数が少ないため、今後増やしていきたい。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・関係機関と連携して支援を行っている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・就学時の際は小学校に出向き、情報共有を図っている。	・学校側の都合等で日程が合わない時などは電話やサマリーなどで共有図っていきたい。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5			・今後、専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させるなどして質の向上に取り組んでいきたい。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	2		・協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等への参加を検討していきたい。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・定期的に電話やメール、面談などで現在の状況や課題などについて共通理解を持っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		・今後、家族支援プログラムや家族等の参加できる研修の機会を検討する。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・初回利用時に運営規定や利用者負担等については丁寧に説明を行っている。	

保護者等への説明等

28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5		・訪問開始前に施設に対しては事業の趣旨や訪問支援の目的を丁寧に説明している。	
29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・電話やメール、面談などで子どもにとって最適な支援を提供できるよう、定期的に子供や保護者の意思をお聞きする機会を設けている。	
30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5		・保護者へは支援計画書を示しながら支援内容の説明を行い、支援計画の同意を得ている。	
31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5		・電話やメール、面談などで適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	
32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5		・年に数回保護者会を開催し、保護者同士が交流する機会を設けている。	・きょうだい同士で交流する機軸は今後検討していきたい。
33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・相談や申し入れに対しては、迅速に対応し体制を整備する等適切に対応している。	
34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・定期的にSNSや通信等で活動状況や連絡体制を子どもや保護者へ発信している。	
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・定期的に研修等を行っており、個人情報の取り扱いには十分留意している。	
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・十分配慮し対応している。	

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5		・訪問支援の際は、適切に相談に応じるとともに必要な助言や支援を行っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5		・訪問支援実施後は、毎回訪問先施設とカンファレンスを行っている。	・できるだけ面談形式で行いたいですが、訪問先施設の都合上、電話形式となることがある。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5		・訪問支援実施後は、家族へ活動状況や支援内容等の共有を図っている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・定期的に研修等を行っており、個人情報の取り扱いには十分留意している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5		・訪問先施設からの相談には適切に応じ、専門的な助言を行っている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	・職員や家族等には周知し、定期的に発生を想定した訓練を行っている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全管理に必要な研修や訓練、そのほか必要な措置を講じるなど安全管理が十分された中で支援を行っている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・事業所内ではヒヤリハットを共有し、再発防止に向けた対策を検討している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・職員は虐待防止に関する研修を行い、日頃から適切な対応をおこなっている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1		